

## 8月8日「はじめの一步」

4ヶ月ぶりの練習！モーツァルトとハイドンを1回ずつ通しました。先生方、暑い中ありがとうございました！24名（S2,A10,T7,B5）練習できてよかった！でもそれは、これまで慣れ親しんできた練習とは、だいぶ異なるものでした、、、。

様々な対策「体調チェック確認」「手指消毒」「換気」「会場備品消毒」等はモチロン、練習中の「互いの間隔確保」「マスク」。やっぱりマスクは苦しい～。呼吸が辛いし、聴こえ方のバランスも変わる感じ。隣の人も遠いし～。「アレ？違うなあ」と思っちゃう焦りも手伝って、ツイ頑張りすぎたり、カラダの支えも抜けてたり、、、アレコレ気になって、集中も欠けていたかも。あの「お互いに聴きあって響きに囲まれて声を出してる感覚がウレシイ合唱練習」の感覚からは遠いなあ、と思いました。

でも同時に、「何もかも変わってしまった状況の中で、合唱を消さないためには、ここから始めるしかないんだ、ここから新しく作るんだ」という気持ちを持ちました。残念ながらこのコロナ禍では、仕事も生活もスタイルを変えざるを得ません。合唱も、マスクと人同士の間隔確保は必須。それに練習会場で対策していても、それぞれの事情もあり、来れる人と来れない人を作ってしまうこの状態、、、。「マスク無しでみんな集まって歌うって幸せなことやったんやな」とつくづく思いました。たぶん本来は、終息してからスッキリ始めるのがよいのだと思います。ただこのコロナ、終息には相当時間がかかりそう。対策での練習は辛いなあと思う一方で「終息まで待っていたら、合唱文化そのものが消えてしまう、それは絶対イヤヤ！」と思いました。

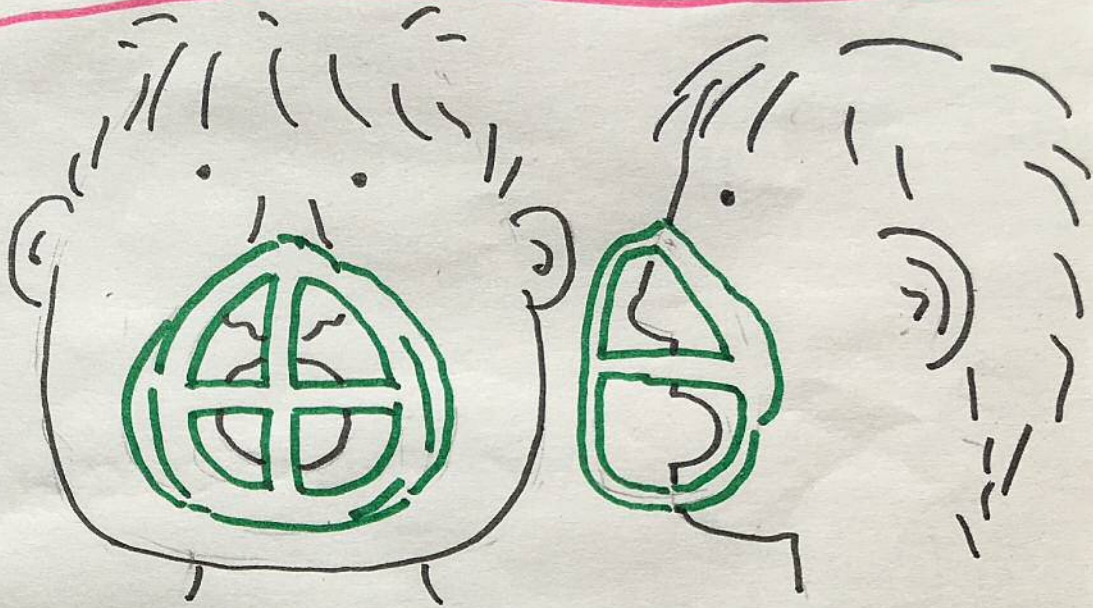
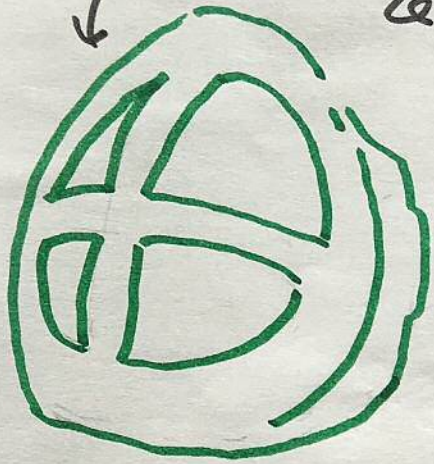
「この時期」への迷いはあるし、みなさんにいろんな意味で負担を強いている、とも思います。ですが「集まって声を出すことはステキ」ということを消さないようにしたいのです。対策を講じながらの練習は、正直なところタイヘン。慣れる必要もあるでしょう、まだまだ工夫はしなくちゃ、と思います。でもなんとか続けたい。そう感じたのはやっぱり8月8日、4ヶ月ぶりにみんなの顔がそこにあるのが嬉しかったから。そして、やむなく不参加とおっしゃった方々からの「会場に行けないけど、みなさん熱中症、気を付けてね」の声と団維持への協力が本当にありがたかったから。今、練習できるのも、ここに来れていない中間のエールのおかげ。みんなが来れるようになったとき、この「場」を元気に用意しておけるようにしなくては、と強く思ったから！

毎回、練習できるかなあ、と探りながら、あれこれ工夫も試しながら、すすめていきたいと思います。そして続けられるかどうかは、**みなさんの健康こそが、いちばん大事なポイントです。**どうぞ体調気を付けて、自分を守って！無理は禁物！そして、合唱を愛し続けて！みなさん、どうぞよろしくおねがいします。

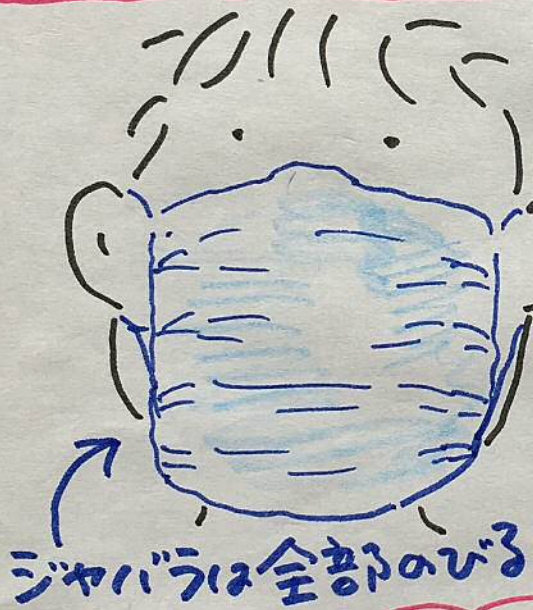


# マスク下の「空間keep Goods」使った?

こういう樹脂製



この上からマスクすると... 何が良いかというところ



息(特に鼻から)  
吸うとき、マスク  
まじ吸って

顔にはりつかし  
苦いけど、これがあると  
はりつかない

ジャバラは全部のびる~



心ワタシは  
気に入って、これなら  
マスクで吸っても  
苦くはかたてであ~  
でも樹脂がカチンつく部分が暑...との声...  
人におこ合う合おひもあるかな~

